

じぶんで できるよ

B

実践概要

「つばさくん」の生活を分解し、試行錯誤しながら、よりよい順序に改善していく活動を行う。
 「手順をわかる」「手順の組合せを考える」「試行錯誤し、改善する」活動を通して、プログラミング的思考を高めることがねらいである。

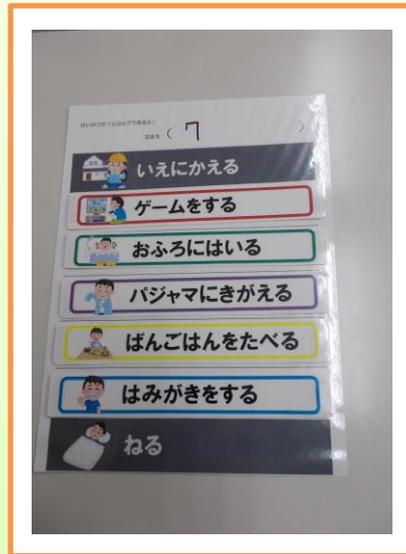
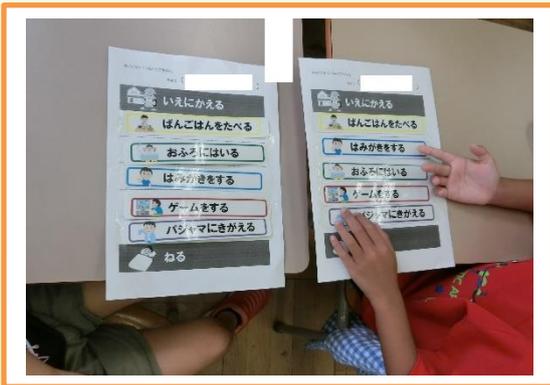
使用教材（製品名）・ICT環境（OS名等）

おやすみなさいカード
 （すぐできるプログラミング教材「いってきますカード」を参考に自作）
 あたらしいせいかつ（小学生活1上東京書籍）

単元計画（全12時間）

	○主な学習活動	●指導上の留意点・◇評価内容等
一次	○例示を基にして、規則正しく生活するための順序があることを知る。 ○家庭で自分の一日の生活を調べる。	◇規則正しい生活について関心をもつ。 ◇生活には規則正しく生活するための順序があることに気付く。 ●生活の順序には、理由があることに気付かせる。
二次	○家庭で自分ができることを考え、実施する計画を立てる。 ○家庭で、自分ができることに取り組む。	◇家の人がしていることや、自分がしてもらっていることに関心をもち、自分でできることをしようとしている。
三次	○自分が家庭や学校で続けていることや、続けてよかったことなどを発表し合う。	◇自分でできることや、家庭生活における役割が増えた自分や友達の成長、よさに気付いている。

ここに注目！（本事例のポイント）



児童一人一人に「おやすみなさいカード」を配り、個人で考えられるようにした。
 一人一人に理由を考えさせるため、カードをテープでとめて取り組ませた。

個人で考えた順番を基に、グループでよりよい順番を考えることができた。
 共通点を探しながら、理由を全体に共有できるようにした。